



平成27年5月29日

各位

会社名 アイ・ケイ・ケイ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 金子 和斗志  
(東証第一部 コード番号: 2198)  
問合せ先 常務取締役 登田 朗  
TEL 050-3539-1122

## 税制改正等による繰延税金資産の取崩し及び 平成27年10月期第2四半期の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成26年12月12日に公表した平成27年10月期第2四半期の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 繰延税金資産の取崩しについて

「所得税法等の一部を改正する法律」が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。この税率変更により、繰延税金資産を61百万円取崩すこととし、法人税等調整額が60百万円増加いたしました。

#### 2. 平成27年10月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績の差異(平成26年11月1日～平成27年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,380	百万円 505	百万円 485	百万円 290	円 銭 9.96
今回公表実績(B)	7,322	405	405	141	4.87
増減額(B-A)	▲57	▲99	▲79	▲148	
増減率(%)	▲0.8	▲19.7	▲16.5	▲51.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年10月期第2四半期)	7,368	998	988	556	19.32

(注) 平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### 3. 差異の理由

当期の業績は、積極的な営業施策により広告販促費及び優秀な人財を確保するための採用活動費をそれぞれ増加させたこと等に加え、前記の通り、法人税改正が実施されたことによる影響により、四半期純利益は、前回予想より148百万円減の141百万円と差異が生じました。繰延税金資産の取崩しは損益に影響を与えますが、実際のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。

なお、平成27年10月期第2四半期末時点において、通期で見込まれる婚礼事業の施行組数は予算を超過しており、平成26年12月12日に公表した通期連結業績予想及び1株当たり配当予想に変更はありません。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上